

平成 28 年度

袋井市森町広域行政組合  
定期監査結果報告書

袋井市森町広域  
行政組合監査委員

## 1 監査の種類

定期監査

## 2 監査の期日

平成28年11月21日

## 3 監査の範囲

平成28年9月末日現在の予算及び事務事業の執行状況

## 4 監査の方法

提出された資料に基づき、袋井市監査委員事務局において、組合事務局長及び関係職員から内容説明を受け、事務事業の実施状況及び予算の執行状況を聴取し、監査を実施した。

## 5 監査の結果

監査の対象となった予算及び事務事業については、おおむね適正に執行されているものと認められた。

## 6 監査所見

(1) 中遠聖苑については、施設建設後33年が経過し、施設や設備の老朽化が課題となっている。更には高齢社会の到来により、火葬件数が増加傾向にあることから、火葬炉の耐火レンガの交換サイクルを早め適切な予防保全に努めている。引き続き、計画的に修繕を行い施設の延命化を図られたい。

(2) 中遠クリーンセンターについては、今年度基幹設備の劣化度調査を実施している。その調査結果に基づき、基幹設備の改修工事を計画的に実施し、適正な施設の維持管理に努められたい。

(3) 袋井衛生センターについては、処理水槽内の堆積物によるポンプの故障や配管の閉塞等の発生により、汚泥物の処理に支障を来すことがある。包括的民間委託を導入しているが、受託業者と槽の状況等について協議し、計画的な槽清掃及び補修対応を行い、設備の適正な維持管理に努められたい。

(4) 袋井消防庁舎整備事業については、今年度中に、実施設計、事業認定手続きを行い、用地取得を行う予定である。消防防災拠点施設の機能を強化し災害に強いまちづくりを進めるため、計画どおり事業が推進されるよう努められたい。

なお、消防業務については、高齢化社会に伴い、高齢者世帯が増加傾向にあることから、高齢者への防火啓発活動の普及に努めるとともに、火災予防や救急救命活動の迅速かつ的確な対応に努められたい。